

# 令和2年度 自己評価書

学校名	和歌山市立城東中学校
校長氏名	楠見 健
作成日	令和3年2月22日

## 1 教育目標

人権尊重の精神を基盤とし、「自分を大切にし、<sup>ひと</sup>他人を大切に<sup>する</sup>人間」の育成

## 2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	学校教育の充実
指標	1. 授業が分かりやすいと思う子どもの割合 2. 学習到達度調査の正答率	1. 学校が楽しいと思う子どもの割合 2. 情報モラル関係の授業の実施回数	1. 朝ごはんを食べる子どもの割合 2. 体力テスト結果	1. 学校の様子がよく伝わったと思う保護者の割合 2. 外部人材の活用数
重点目標	◎基礎・基本の確かな定着 ○思考力・判断力・表現力の育成 ○主体的に学ぶ力の育成	◎道徳・人権教育の充実 ○いじめの未然防止、早期発見 ○豊かな感性の育成	◎基本的な生活習慣の確立 ○体力向上、健康維持 ○危機回避能力の育成	◎教育施設・設備の改善 ○家庭・地域・小学校との連携協力 ○各種人材・資源の活用
取組の状況	・スクールプランで示した具体的な取組を概ね実施できた。 ・ICT機器の活用は進んだが、学び合いの授業が十分にできなかった。	・スクールプランで示した具体的な取組を概ね実施できた。 ・職場体験学習を実施できなかった。	・スクールプランで示した具体的な取組を概ね実施できた。 ・感染症拡大防止の学習や取組を進めた。	・スクールプランで示した具体的な取組を概ね実施できた。 ・感染症拡大防止のため、実施できない取組があった。
取組の成果と課題	【成果】 指標1 目標:90% 結果:97.1% 指標2 目標:平均以上 結果:平均以下の学年があった 【課題】 感染症対策のため、学び合いの授業実施が難しい。	【成果】 指標1 目標:90% 結果:93.7% 指標2 目標:5回 結果:5回 【課題】 教職員数が減る中で、取組をどう継続・充実させるか。	【成果】 指標1 目標:95% 結果:調査できず 指標2 目標:平均以上 結果:実施できず 【課題】 コロナ禍の下、運動不足になっていないか。	【成果】 指標1 目標:80% 結果:81.4% 指標2 目標:のべ20件 結果:のべ15件 【課題】 コロナ禍の下、小学校との交流、ゲストティチャーによる授業等をどう実施していくか。
次年度に向けての改善方法	・主体的、対話的で深い学びの工夫を進める。 ・学び合いの授業が実施できるように工夫する。 ・ICT機器の活用を推進する。	・取組の見直しや、外部資源の活用を図る。 ・人権教育に関する研修を継続する。 ・情報モラル指導を継続する。	・健康、体力向上についての啓発を継続する。 ・運動する機会の充実を図る。	・状況を見ながら、小学校との連携や外部資源の活用を継続する。 ・学校HP等の活用をさらに進める。

## 3 その他の課題

- コロナ禍の下、「何ができるか・どうすればできるか」、教育活動の見直しや改革が求められる。
- 生徒数及び教職員数減少への対応
- 生徒個々のニーズに応じた指導や支援の充実
- 学校施設・設備の老朽化への対応
- 教職員の働き方改革への対応